

調査票の 記入のしかた

調査票は1カ所1枚

調べた場所ごとに調査票を1枚使ってください(足りなくなったときは、コピーして使ってください)。

調査票には、歩いた場所や日付、環境を、もらさずに記入してください。

地名の記入は正確に

歩いた場所、つまり採集された場所を地図に表すためには、なるべく正確な地名が必要です。できれば国土地理院発行の地形図(5万分の1、あるいは2万5千分の1)に表示されている地名で、歩いた場所の地名を記入してください。

ひっつきむしを貼り付けて

集まったひっつきむしをすべてを送る必要はありません。種類が違うと思うひっつきむしを1個ずつ、調査票のイラストと絵合わせして、これと思うところにセロハンテープで貼り付けてください。

異った場所で集めたものを、いろいろ混ぜて1枚の調査票に貼ったりしないでください。



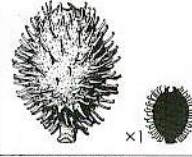
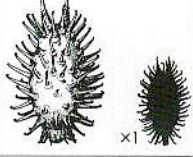
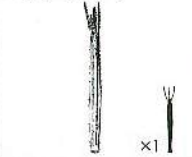
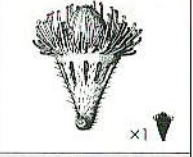
調査票は折りただんで封筒へ

ひっつきむしを貼った調査票は、二つ折りにして所定の封筒に入れてお送りください。

調査票の返送をご希望の方は

調査票の返送をご希望の方は、おところ、お名前をお書きいただき、切手を貼った「返信用封筒」を同封してください。正しい種名を記入してお返しいたします。

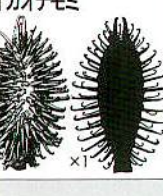
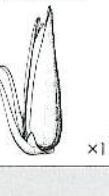
〔調査票の記入例〕

氏 名	
オナモミ類	
①オナモミ 	②オオオナモミ 
※ここには記入しないでください	
センダングサ類	
③コセンダングサ 	④コバノセンダングサ 
※ここには記入しないでください	
キンミズヒキ類	
⑤ヒメキンミズヒキ 	⑥チョウセンキンミズヒキ 
※ここには記入しないでください	
○○類の中でわからなかった場合は 右の欄に貼ってください 「オナモミ類まではわかるんだけど、オナモミかオオオナモミがよくわからない」、あるいは「センダングサの仲間らしいけれどそこから先はどうも……」というような場合は、右の欄のそれぞれの類のところにひっつきむしを貼ってください。	

左側が拡大図、右側がほぼ実物大のイラストです。絵合わせをして、これと思うところにひつつきむしをセロハンテープで貼ってください。大きさは、成熟の程度や環境による影響が大きいので、一つの目安と考えてください。

当てはまる項目だけを記入してください。

参加者番号は10ケタです。参加者番号は、このてびきをお送りした封筒の宛名ラベルに印字されています。団体で参加された方は、代表者の方から番号をきいてください。

歩いた日 98年 月 日		歩いた場所	
オオナミ  センダングサ類			
①タウコギ 		②アメリカセンダングサ 	
③センダングサ 			
イノコズチ類 キンミズヒキ類			
④ヒカゲイノコズチ 		⑤ヤナギイノコズチ 	
⑥ウマノミツバ 		⑦ミズヒキ 	
⑧ハエドクソウ 			
オオナミ類		センダングサ類	
イノコズチ類		キンミズヒキ類	

身近な '96 生きもの 調査

●調査票●

※ここには記入しないで下さい

参加者番号 0130038240

氏名 山 川 みどり

歩いた日 1998年 10 月 5 日

歩いた場所(その場所の住所)

東京 都・道・府・県

郡(郡のある場合のみ記入)

市・町・村(特別区の場合は空欄)

江戸川 区(特別区・政令指定都市の場合は記入)

江戸川

歩いた環境(1.~17.の中から1つ選んでください)

森林	1. 雑木林(身近な林)	森林の1~4を並べた組合はさらに8~17から1つ選んでください	5. 竹林・やぶ
草地	6. ススキなどの高い草	7. シバなどの背の低い草	
水辺	8. 川の周辺	9. 池の周辺	
	10. 都市公園	11. 緑地の道路	
	12. グラウンド	13. 造成地・埋立地	
	14. 田の周辺とあぜ	15. 畑・休耕田	
	16. 池の周辺	17. 川原	

※ここには記入しないで下さい

01 オオナミ	10 ヒカゲイノコズチ
02 オオオナミ	11 ヤナギイノコズチ
03 イガオナミ	12 キンミズヒキ
04 タウコギ	13 ヒメキンミズヒキ
05 アメリカセンダングサ	14 チョウセンキンミズヒキ
06 センダングサ	15 ノブキ
07 コセンダングサ	16 ウマノミツバ
08 コノハセンダングサ	17 ミズヒキ
09 ヒナタイノコズチ	18 ハエドクソウ

「オオナミ類まではわかるんだけど……」というような場合は、この欄にひつつきむしを貼ってください。

歩いた場所の環境を、この表のなかから1つだけ選んで○を付けてください。

コンピュータにデータ入力する際に利用するので、ここには何も記入しないでください。

気をつけていただきたいこと

- この調査は、みなさんの日常の生活の範囲内で行っていただくものです。
ですから、この調査のためだからといって、わざわざふだんは行かないような所へ
出かける必要はありません。
- とくに、危険な所や立ち入りが制限されているような所へは、お出かけにならない
でください。また、調査は日中の明るいうちに行うようにしてください。
- 調査中に事故等に遭われてもお世話することができません。調査にあたっては事故
やケガに十分にご注意ください。
- 今回の調査はひっつきむしをむやみに集めるものではありません。1株からすべて
の実やタネを採ってしまったり、株そのものを引き抜いたりするようなことは、
絶対にしないでください。
- 小学生以下の方が調査される場合は、危険防止のため必ず保護者の方や先生がご指
導くださるよう、お願いいたします。

さまざまな情報を マルチメディアで

身近な生きもの調査に関することはもちろん、
その他の緑の国勢調査に関する情報などをFAX、
インターネット、パソコン通信で取り出すことが
できます（情報は2ヶ月に1回程度で更新予定）。

1 FAXサービス (NTT World Nature Network).....FAX番号 03-5476-4901(4301#)

※ダイヤル回線の場合は、ガイダンスが聴こえたら、電話機のスイッチを、「PB」または「トーン」に切り替えて下さい

2 インターネット (NTT World Nature Network).....アドレス <http://www.wnn.or.jp/wnn-n>

3 パソコン通信(EICネット).....アクセスポイント 03-3595-3271

※NIFTY-ServeまたはPC-VANから接続する場合は「他のネットワークへの接続」メニューから「EICネット」を選択

本書はつぎの方々の協力を得て作成しました。

- 【企画検討】 自然環境保全基礎調査検討会
身近な生きもの分科会
- 槐 真史 (厚木市教育委員会生涯学習課)
- 【座長】 大場 秀章 (東京大学教授)
- 大森 雄治 (横須賀市自然博物館学芸員)
- 浜口 哲一 (平塚市博物館学芸員)
- 望月 賢二 (千葉県立中央博物館自然史・歴史研究部長)
- 【執筆協力】 大森 雄治
- 【写真】 大森 雄治・ネイチャープロダクション
- 【植物図版】 中島 睦子
- 【イラスト】 ひらかわ しょうじろう
- 【デザイン】 デザインルーム風都市



●調査のてびき●

■平成8年8月 第1刷発行

■発行
環境庁自然保護局
計画課自然環境調査室
〒100東京都千代田区霞ヶ関1-2-2
☎&FAX 03-3591-3228